

城西病院で避難訓練

城西病院の新病棟で出火。初期消火に失敗、避難してくださいー病院職員約30人が参加し、2月9日、避難訓練が行われました。

新病棟3階の一般病棟の病室から火が出ているのに看護師が気づき、「火事です」と叫びながら近くにある消火器を使い、初期消火を試みるという設定で訓練開始。火災報知機で火災を知らせる一方、入院患者役の職員の避難訓練が始まりました。

動くことのできない患者役は、布でできた担架に乗って、階段を使って避難。歩くのに介助の必要な患者役は、看護師など職員が付き添い、安全を確認しながら出口に向かいました。松葉づえで避難する患者役の職員、避難誘導に当たる職員と、真剣な表情できびきびと訓練を行いました。

指導に当たった結城消防署は、「病院なので、患者さん自身で逃げるという行動のできない方もいます。

災害時は自助、共助、公助という言葉を再認識してください」と講評を受け、病院の屋上で水消火器を使い、消火訓練を行いました。

平成30年2月9日

